

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		共有スペースは曜日によって使用グループを決めるなど、安全に利用して頂けるよう配慮しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		子どもさん、職員の人数に応じて、センター全体でサポートできるよう職員を配置しております。	国の指定基準に則り、人員配置をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚的分かりやすい環境づくりを行っています。余計な物を置かないようにし、刺激過多にならないように気を付けています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的な安全点検、毎日の清掃・消毒を通して、センター内の美化に努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員が目標面接カードを作成し、一人ひとりが意識を持って業務に臨めるよう体制を整えています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートの実施は今回が初めての取り組みとなります。	より広くご意見を収集できるように、意見箱の設置を検討していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回のように、今後も定期的に公表していきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		1年に1度、第三者評価の自己評価を実施し、3年に1度の外部受審を経て、日々のサービス提供、業務改善へと繋がっていきます。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に職員研修、法人内研修を行っており、外部研修にも積極的に参加するように計画を立てて、取り組んでいます。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員と連携を図り、子どもさんや保護者の面談を通して得られたニーズを分析し、児童発達支援計画の作成を行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一したアセスメント様式を使用しています。	様式は法人内の児童部会で定期的に見直し、質の向上を図っていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心として、児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら、実施しております。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子どもさん個々の児童発達支援計画を支援の基本としながら、支援の実施と評価を行っています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当職員を中心に、各月の活動プログラムをグループ単位で作成すると同時に振り返りを行い、プログラムの質の向上に努めています。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容の振り返りの機会を設け、子どもさんの児童発達支援計画や実態に応じて、活動内容を変更することで活動内容の固定化されないように配慮しています。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		保護者や本人のニーズを踏まえ、発達支援、保護者支援、地域支援を考慮した個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		全体朝礼後に、各グループごとにミーティングを設け、その日の活動内容、職員の役割、子どもさん個々のその日の目標などの確認を行っています。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		子どもさんが自宅に帰られた後、各グループごとにミーティングを行い、その日の活動や職員の動きの振り返り、子どもさんへの支援の評価などを行っています。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		児童発達支援計画の支援に基づき、支援を記録し、活動内容や個々の支援に対する検証、評価に繋がっています。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングでは、子どもと保護者との面談を通して、支援の達成度や満足度等の把握を行い、支援の方向性の確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や担当者が出席し、情報の共有を行っています。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		葛飾区内の関係機関との連携や、情報交換会や調整会議などに積極的に参加しています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			非該当	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている			非該当	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報提供シート(就学支援シート)を作成し、進学先の特別支援学校や移行先の放課後等デイサービスへ情報共有を行う予定。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		小学校との引き継ぎ会を開催し、情報提供シート(就学支援シート)を活用予定。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		葛飾区内の関係機関が参加する相談支援部会、情報交換会、調整会議などに積極的に参加し、地域情報の収集と、課題の共有化を図っています。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流の機会はまだ持ていません。	今後、具体的な取り組みを検討します。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		葛飾区で行われる相談支援部会に参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の保護者とのやりとりや情報交換などは連絡帳を通して行っており、必要に応じて送迎時、電話連絡、面談等を通して、情報共有を図っています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	実施はまだできていません。	新型コロナウイルスの動向を踏まえながら、今後取り組んでいけるように検討していきます。
保 護	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規定(契約書)、重要事項説明書の説明を行っています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画を作成した時、見直しを行った時には、保護者へ支援内容と目標の説明を行い、同意をいただいているから支援を提供しています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳を用いた関係構築を基本とし、電話や見学面談を行った際に子育ての悩みを聞く機会を設けるようにしています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現時点で父母の会や、保護者同士の交流の機会を設けることはできていません。	地域の特性や保護者の意見などを参考にしながら、どのような形の支援が適切なのか検討を行っています。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に相談・苦情受付担当者、解決責任者、第三者委員を設置していることをお伝えしています。また、法人内の窓口だけでなく、葛飾区、東京都が設けている窓口の紹介も行っています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		常盤会便り(法人広報誌)、はじめのいっぽ(当センターのお便り)、ホームページ等を通して、情報を発信しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理規程を整備し、プライバシーの配慮等、職員への周知を図っています。個人情報に関する書類・データ等については鍵付きの棚に保管する等して、取扱いに注意しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		言葉の理解が難しい子どもさんには、絵・写真カードを用いたり、モデルを示したりと視覚的アプローチを中心に支援を行っています。また、外国人の保護者には、読み仮名を入れるなど配慮しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		センターがオープンした際は、地域の方へ向けて施設公開を行い、多くの方々に見学していただきました。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	各種マニュアルを整備しており、必要に応じて、見直しを行っております。また、緊急時、感染症対応の研修も実施しています。	緊急時、災害時の対応について保護者への周知が不足している為、今後検討し、取り組んでいきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		火災を想定した避難訓練は毎月実施しており、他にも地震想定、洪水想定、不審者対策避難訓練などを行っています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者とのアセスメント面談や定期的な面談を通して、子どもさんの疾病や服薬状況等を把握しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書に基づいた食事提供を行っています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		朝礼時の報告と報告書の確認を行うことで共通理解を図っています。また、法人内の事故防止委員会の取り組みの中で事例を集計、分析し、対応策等を検討し、再発防止に努めています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に人権擁護委員会を設置しています。委員会活動として人権に関する意識調査を職員向けに行うなど、人権を意識したり考える機会を設けることで虐待防止に繋がっています。また、外部講師による権利擁護をテーマとした研修も定期的に行っています。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束を必要とする対象児童は今現在いません。	身体拘束に関するマニュアルが不足している為、作成を検討していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

配布：35世帯 回収：31世帯 回収率：88%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・開所当初の定員は40でしたが、今は60名と聞きました。スペース的には大丈夫なのでしょうか？ ・担当の先生の紹介を簡単な書面でいいのだけいただけたらと思います。 ・〇〇グループ〇曜日〇名に対して職員〇名です等の紹介があれば分かりやすいかなと思います。 ・専門職がどのくらいいるのか気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日あたりの子どもさんの受け入れ定員は40名であり、オープン当初と変わりはありません。契約いただいている子どもさんの人数が60名程度との説明だと思われます。誤解を招くような説明を行い、申し訳ありません。 ・目安として担当グループ職員を決めてはいますが、利用する子どもさんや活動内容などによって、時間ごとに対応する職員がフレキシブルに対応を行うことを基本にしています。〇〇グループに〇名の職員を配置しましたという説明は難しいですが、職員の顔と名前を早く覚えてもらえるように、広報誌などの作成を検討します。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・できればSTさんなど専門職の配置があるといいと思います。 ・職員の配置数は適切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療系の専門職の配置については検討します。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・建物も新しく、バリアフリー化されていると思います。ただ情報伝達等は分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化などの手法を用いて、子どもが理解しやすい、伝わりやすい環境を心掛けています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30	0	0	1		
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・できれば細かな課題も計画書に入れてもらえたらよかったなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の中では支援の優先順位を決め、計画書の支援をメインに行っていますが、職員間でアセスメント記録の内容を共有し、計画書に記載のないその他の課題についても支援を行うように心掛けています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	1	0	8		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な個別指導を希望します。 ・今後、個別指導など1対1で向き合える指導があるといいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターでは小集団活動を中心に各種活動などを行っていますが、子どもさんの課題上、必要だと想定される場合については個別指導等を検討していきます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ曜日に同じ活動になったときがあったので、別の活動にしてもらえるといいかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムによっては、子どもさんのスモールステップの為、意図して活動内容を固定化することもあります。できるだけ、子どもさんには楽しみながら活動に参加していただけるよう、様々なプログラム内容を検討していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

配布：35世帯 回収：31世帯 回収率：88%

		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	3	2	11	・コロナなので仕方ないと思います。 ・現状を考えると交流は難しく、状況が改善した後にそのような活動も期待しています。	・新型コロナウイルスの感染拡大により実施が困難でした。今の状況が落ち着いたら積極的に取り組んでいきます。
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	1	1	0		
	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	12	4	5	10	・実施がないので今後お願いします。	・新型コロナウイルスの感染拡大により実施が困難でした。今の状況が落ち着いたら積極的に取り組んでいきます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	4	0	2	・時間がないので定期的には難しいですが、面談で課題や支援方法の確認をさせてもらっていて共通認識をしています。 ・子供の様子などはほとんど連絡帳での報告だけなので、これから出来なかった事が出来た時、教えてほしいです。 ・状況はいつも教えてもらえるが、課題についてはあまり話す機会がないように感じる。	・連絡帳の他に、面談や電話での連携も可能です。施設側から連絡や面談の依頼をさせていただくこともあります。が、気になることがあった際は、お気軽にご相談ください。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	5	6	・コロナが落ち着いたら見学等したいです。	・受け入れ人数を制限しておりますが、見学の受付も行っていきますので、センターにお問い合わせください。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	3	10	11	・まだ保護者同士の交流はありません。 ・これからあれば参加したい。 ・他の親子さんの存在が不透明なのは個人情報保護の為なのか、感染対策の為なのか分かりませんが、特に不自由に思うところはありません。 ・新型コロナウイルスの件もあるので今後おちついたら参加したいと思います。	・新型コロナウイルスの感染拡大により実施が困難でした。今の状況が落ち着いたら積極的に取り組んでいきます。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	4	0	4	・相談しやすい環境だと感じています。 ・申し入れ等をしたことがないので分かりません。	・相談窓口や受付体制を説明した案内を配布予定です。配布までしばらくお待ちください。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	0	3		
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	0	9	・こちらに必要な情報は伝えていただいています。	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月13日

事業所名 高砂発達支援センター

配布：35世帯 回収：31世帯 回収率：88%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑱ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	29	0	0	2		
非常時等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	3	2	6	・マニュアルの周知、説明はされていません。	・緊急時、災害時の対応について、保護者の方々への周知が不足している為、今後方法を検討し、取り組んでいきます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3	1	11	・避難訓練をしているかどうか知りません。お手紙に書いてありましたでしょうか？ ・予定表での把握ですが訓練されていると思います。 ・避難訓練日に通所できていない。	・毎月、災害を想定した避難訓練を行っています。実施日につきましては、月の行事予定表をご確認ください。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	26	5	0	0	・保育園よりも楽しみにしています。行きたくないといったことがないです。 ・毎日センターに行く？と聞いてくるくらい本人はとても楽しく通園していると思う。自信がつきはじめ、言葉や1人でできることが増えてきた。 ・センターでの活動が毎回とても楽しいので「早く行きたい」と言っています。 ・小さいバスに乗るのを楽しみにしています。 ・子どもはセンターでの活動を心待ちにしています。帰宅後も満足そうにしていることが分かります。 ・とても楽しみにしています。本人は毎日行きたいようです。通所の時テンションがいつもと違います。 ・行く時に幼稚園に行きたかったという時もありますが、帰ってきたら「楽しかった」と言っています。	・当センターが子どもさんにとって、楽しく学べる、楽しい経験ができる、可能性が伸ばせる場所になるように努力していきます。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	26	2	3	0	・生活面でも活動面でも課題をクリアする為の経験をさせて頂けてありがたいです。 ・とても満足している。職員の方みなさん会うとニコニコしてくれてとても良い。子供の苦手な所をのばしてくれて、ほめてくれて、家ではできないことをやらせてもらえて嬉しい。 ・とても満足しています。子供が喜んでいる事が一番なので。	・みなさんに高砂発達支援センターを利用して良かったと感じてもらえるように、サービスの質向上に取り組んで参ります。

○この「保護者等からの事業所評価表の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。